## 人間関係講座(グループ)第88回[春]

## -グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	津村 俊充(南山大学人文学部心理人間学科教授)
	金田 裕子(南山大学人文学科心理人間学部講師)
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容(コンテント)に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係(プロセス)に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく②「コンテント」と「プロセス」とは何かを理解する③グループの中での人間関係(グループプロセス)に目を向ける重要性に気づくこの講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習(典型的な実習)と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。なお、この講座(または過去の人間関係講座 < グループ > )を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」を開催します。
日程	2013年6月8日 (土) 10:00~18:00 6月9日 (日) 9:00~17:00 土日集中
定員	36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円(税込)
メルマガ 講座報告	担当講師 金田 裕子 記 6月8~9日に行われた第88回人間関係講座(グループ)は、全国から集まった皆さんの知りたい、学びたい、活かしたいという熱気が溢れた2日間でした。 一日目の最初は、一人一人が緊張した面持ちで「ねらいづくり」を行いましたが、少人数で「ねらい」をシェアし、期待や不安、ここにやってきた理由などを語り合うことを通して、会場のあちこちに柔らかい笑顔が広がっていきました。午後には5~6人のグループで、プロセスに気づく実習、体験から学ぶサイクルを意識する実習の二つに取り組みました。受講生の皆さんは、実習の間に行われる小講義にも熱心に耳を傾け、できるだけ多くのことを吸収したいという熱意が感じられました。二日目の朝、やってきた皆さんの表情は前日と打って変わって穏やかで、互いに挨拶し、言葉を交わす和やかな雰囲気が生まれていました。そんな中、新しいグループをつくり、複雑なブロックモデルを再現したり、コンセンサス(合意)をめざしたりと、前日よりも難しく長時間にわたる実習に取り組みました。実習後のふりかえりは、回を重ねるごとに丁寧で熱心なものとなりました。皆さんは、実習中の出来事や仲間の様子、自らの思いなどを率直に語り合うことで、他者と共に学び合うことの大切さと面白さを実感しているようでした。 二日間を終えた皆さんの感想には、自分への気づき、グループの中での働きかけ、実習そのものの意味に捉え直しなど、様々な学びの収穫を見ることができました。